変更項目一覧表

（前回取得時）

件名：

性能評価番号：

性能評価年月日：

大臣認定番号：

大臣認定年月日：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 主として主架構等に関する変更 | | | |
| No. | 変更概要 | 変更内容及び主な変更箇所 | 検討結果又は所見 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |
| 二次部材等に関する変更 | | | |
| No. | 変更概要 | 変更内容及び主な変更箇所 | 検討結果又は所見 |
| 3 | スラブの変更 | ①レベルの変更  ・1階X3-７間/Y3-4間  FL-50mm⇒FL-150mm  【別添-5】  ②仕様の変更  跳出し長さの変更に伴いスラブ符号を変更。長さ1400mm⇒1800mm  ・3階Y1通/X3-5間  CS3⇒CS5  【別添-7，28】 | 構造安全上影響のない変更であり、問題ないと判断した。  構造安全上影響のない変更であり、問  題ないと判断した。  跳出しスラブを支持する大梁G５について検討した結果、長期短期とも安全であることを確認した。  （最大検定比：0.60）  スラブは厚さを変更(170mm⇒200～170mm)し、曲げ検定比により安全であることを確認した。  （最大検定比：0.40）  【検討資料-１】  建物重量の増減については、検討資料-8にて他の項目も加えた検討結果を示す。  【検討資料-8】 |
| 4 | 孫梁の変更 | 孫梁の変更、追加、移動、及び中止  【別添-35，39】  ①断面形状の変更  ・27階B11-13間/BP-R間  24C・30C⇒29B  ・36階B3-5間/BG-O間  ②部材の追加  部材無し⇒39C･40C･50C･49B  ③位置の変更  39B⇒移動  ④部材の削除  44B⇒削除  検定比の最大値、安全率の最小値等を記載せず、検討を省略する場合には検討を省略した理由を記載してください。断面形状を大きくしたり、鉄筋の本数を増やしたりする変更で構造耐力上有利になる、変更箇所以外の部分で、変更後の部材と同様のものがあり、断面算定等によって既に構造安全性が検討されている、等。  ※このコメントは印刷の際に消してください。 | 内外装受等に伴い、部材を変更した孫梁等の断面は断面係数等の断面性能が変更前より大きく、新たに追加・移動した部材断面は、他架構の同一断面にて長さ・荷重条件共に変更箇所と同等以上の条件により構造安全性を確認しているため、構造安全性に問題はないと判断した。 |
| その他の変更 | | | |
| No. | 変更概要 | 変更内容及び主な変更箇所 | 検討結果又は所見 |
|  |  |  |  |

* 原設計時から上記変更までの重量の増減（及び固有周期の変動）は以下に示すとおりであり、建築物の応答性状に与える影響は小さく、構造安全上問題がないと判断した。【検討資料●】

各層重量変動比：　最大●％（●階）

総重量変動比：　●％

（固有周期の変動比：　最大●％（●方向●次））